



2019

愛媛県立小田高等学校

創立70周年記念誌

積み重ねてきた70年
歩み続ける地域と共に







も く じ

校旗・校章・校歌	2
巻 頭 言	3
同窓会長挨拶	4
体育後援会長挨拶	5
P T A 会長挨拶	6
生徒会長挨拶	6
<hr/>	
沿 革	7
歴 代 校 長	9
創立70周年記念事業	10
写真で振り返る小田高の歴史	11
平成21年度～平成29年度 写 真 集	12
<hr/>	
創立70周年 記念式典	21
平成30年度 喜多地区七高校野球大会 兼 小田高校創立70周年記念試合	23
創立70周年 記念運動会	25
創立70周年 記念文化祭	27
創立70周年記念事業「小田深山ウォーク」	29
<hr/>	
部 活 動 紹 介	30
学 校 行 事	31
平成30年度クラス紹介	35
施 設 概 要	36
創立70周年記念品等	37
教職員集合写真	37



校旗・校章・校歌



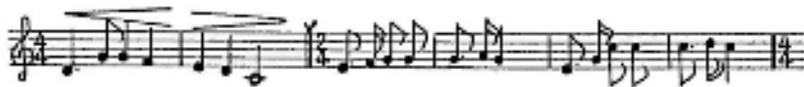
校 歌

〔新入の気魂をこめて〕

小倉 久知 作詞
清家 嘉寿恵 作曲



みどりの やまかは うるはし ふるさと ましろき きりの



たちこむ ところ ながれは きよし おかうど おれら



く れない にほーふ か んばせ はゆる



お だがは かはん いしずふ かたく そびゆる いらーか



お お これ ぞ われ ら が が く え ん



創立七十周年記念誌 発刊に寄せて

愛媛県立小田高等学校校長 山下 博 司

このたび、本校の創立七十周年を記念して、地域の皆様、同窓生の皆様及び保護者の皆様の御協力・御支援のもとに、栄えある記念式を挙行するとともに、小田高七十周年記念誌を発刊することになりました。

本校は昭和23年11月6日、旧小田小学校の一室を間借りして、定時制普通科として開校。以来、校舎の建設、運動場の拡張など、幾多の変遷を経て今日に至り、本年度記念すべき創立70年を迎えることができました。これまでに卒業生は5,000名を超え、地域の活性化を支える人材として、また各界において有為な人材として活躍しています。

小田高校では、草創期に御尽力いただいた方々の御苦勞を偲ぶとともに、皆様の意志を受け継ぎ、地域に根ざした魅力ある学校を目指して、日々の教育活動を行っているところです。特に昨今は、地域の将来を担う人材育成を目指し、地域の課題を発見・解決するアントレプレナーシップ、地方創生に係るグローバルマインドの育成など、これからの時代が求める新たな学力を育成する教育に積極的に取り組んでいます。これからも、創立七十周年を一つの節目として、これまで営々と築き上げてきた本校のよき伝統や校風を尊重・継承して発展させていきます。

おわりに、記念事業の一環として、本校の歴史を記録にとどめるために、編集に携わり御尽力いただきました関係各位に心から感謝とお礼を申し上げ、発刊に寄せる言葉といたします。



同窓会長 挨拶

同窓会長 亀岡 忠重

小田高校創立70周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

今回70周年記念事業期成会会長の大役を任され、気の引き締まる思いで記念事業の運営に努めて参りました。各関係機関の皆さま方のご協力ご支援を賜り順調に行事が推進出来ましたこと大変嬉しくお礼申し上げます。

さて、ご承知のように小田高等学校は昭和23年昼間の定時制高校として開設され、70年の歴史を刻んで参りました。その歩みは平坦でなく大変な苦勞、苦難の道のりでしたが地域における唯一の高校教育機関として、その役割と使命を果たしてまいりました。

開設当時の学び舎は、旧小田小学校職員室を間借りしてのスタートでした。念願の新校舎が昭和32年建設されましたが計り知れない大変なご苦勞があったようです。校舎建築基金の一助にと東京大相撲を興行したり、敷地造成には生徒も地づきに参加するなど、町挙げて取り組んでこられました。

また、教育の振興、生徒確保のために、町が体育館、プール、小田寮の建設をし、町立高校なみの応援をされました。昭和34年には定時制から全日制への移行となり、1学年150名の生徒の確保が必要条件で、できなければ高校の存続ができない崖っ淵に立たされました。その当時50名の生徒を確保するのがやっとの時代、この難局をのりきるため町、地元、近隣の中学校が連携しこの局面を見事に乗り切り現在に至っております。しかし、近年の過疎化、産業の低迷、少子化の影響により存続の危機に直面している現実があります。

小田高校は、開校以来小田地区町民の熱い思いと期待に支えられ歩んで参りました。また、保護者や地域の方々と共に日々魅力ある学校づくりに努力していることから県下でも規律正しく文武両道の学校として注目されております。

高校存続は町民全ての願いであると言っても過言ではないと思っております。小田地域でこの教育の炎を何時までも灯し続けたいとの強い思いがあります。

高校存続のために、町、小田地区自治会、同窓生から生徒の通学対策のために補助金、寄付金のご支援をお願いし入学生の確保に努めております。

また、高校魅力化事業の推進にも取り組み県内外からの生徒募集に努めております。

今後においても小田高校の魅力化や来て学びたい学校を目指すとともに、町の産業の振興にも関われる高校の在り方を模索して参ります。

同窓会としてもこの70周年を節目として学校、地域、関係機関と連携し小田高校の更なる発展のため、また、小田地域の活性化のために活動して参りたいと思っております。後になりましたが70周年記念行事のため地域、同窓生、関係者の皆様には多額の寄付のお願いをいたしました但快くご理解賜り厚くお礼申し上げますと共に、今後とも皆様方のご協力、ご支援をお願い申し上げますと致し申し上げます。



体育後援会長 挨拶

体育後援会長 武 井 浩

愛媛県立小田高等学校が創立70周年を迎えますことに、体育後援会を代表して、心よりお祝い申し上げます。

小田深山を代表する美しい緑の山並みと、傍らを流れる清らかな小田川に抱かれ、林業の町として栄えたこの小田の地に、昭和23年11月、愛媛県立小田高等学校として開校した本校は、以後現在に至るまで地域の人材育成の拠点として、地域とともにたくましく発展を遂げ、深い郷土愛を持った多くの人材を地域の担い手として輩出してきました。開校以来の同窓生も5,000人を超え、多くの同窓生が、各界の第一線で活躍しておられます。

これもひとえに、歴代校長先生をはじめとする諸先生方、保護者の皆様、並びに同窓会をはじめとする地域の皆様の並々ならぬ御尽力の賜物でございます。ここに本校の発展に寄与されたすべての方々に、厚く御礼申し上げます。

さて、本年度10月には、創立70周年記念式が盛大に挙行されました。その会場となりました本校の体育館は、平成29年9月に新設されたばかりです。この体育館の新設により、体育の授業はもちろん、剣道部や卓球部、バレーボール部の練習環境も一新され、新しい道場やフロアに、夢や希望に満ち、活力あふれる若人の青春の1ページが記され始めました。これからこの体育館を舞台に、様々なドラマが描かれ、本校の歴史に、また新たな色を添えてくれるものと期待しております。一方、体育館の新設に伴い、学校の東側に位置する旧体育館は、その歴史に幕を下ろした形となりました。また、西側に位置していたプールや旧武道場、旧卓球場も今は姿がありません。北側に位置するグラウンドのみが、昔と変わらず今も、生徒の活動の場として活用されています。本校は、四方を大自然に囲まれ、70年の歴史を歩んできました。それは、旧体育館・グラウンド・プールの運動施設に囲まれて歩んできた歴史でもあります。この3つの施設は、教育振興のために、町が学校へ提供していたものです。つまり、本校の歩みの傍には、常に地域の想いや願いがありました。まさに、本記念事業のスローガンである「積み重ねてきた70年 歩み続ける地域と共に」が示す通りです。

旧体育館はその役目を終え、プールはその姿を消しました。しかし、地域と共に歩み続ける小田高校には、今も地域の未来を担う子どもたちの声が響いています。現在わが国は、人口減少や少子高齢化等の問題を抱えており、加えて地域の衰退・疲弊も叫ばれております。そのような厳しい状況にあっても、子どもたちの声が響き続ける限り、小田高校は「地域の誇り」であり続けるとともに「地域の原動力」ともなり得るものと確信いたしております。

最後に、今後の小田高等学校の更なる発展と飛躍、教職員及び生徒、保護者の皆様、並びに同窓生の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。



創立70周年によせて

PTA会長 福岡 旭

平成最後となる年に小田高等学校が、記念すべき70周年を迎えられたことをPTAを代表して心よりお祝い申し上げます。

昭和23年に定時制独立校として創立され、その歩みの過程には様々な課題をかかえ多くのご苦労やご努力があったことだと察します。豊かな自然に囲まれた山間部の小規模校です。その特色を生かして一人ひとりの進路目標に応じた教育方針や文武両道の精神のもと部活動にも力を入れてこられました。又、礼節を重んじる伝統は、きびきびとした集団行動や気持ちの良い挨拶に受け継がれ高い評価を得ています。卒業生の一人として大変誇らしく思います。

さて、数年前より過疎化による生徒数減少が進み大変な難局を迎えております。学校名でも魅力ある学校づくりの取り組みがなされ、生徒募集にも力を入られています。現状を見つめ、未来への思いを馳せ、築きあげた伝統の躍進を願うばかりであります。

最後になりましたが、県・町当局をはじめ、地域の皆様方には深いご理解と温かいご支援をいただいておりますことを、現PTAを代表いたしまして深く感謝申し上げ、挨拶とさせていただきます。



『紡』

生徒会長 越智 慎之介

本年度本校では「積み重ねてきた70年 歩み続ける地域と共に」のスローガンのもと、70年の歴史を噛みしめつつ、地域に根ざした魅力ある学校づくりに取り組んでいます。小田高校が七十周年を迎えられたのは、歴代の先輩方が築かれた小田高校の伝統が受け継がれてきたからだと思います。体育の集団行動では、周囲をよく見て、大きな声を出すことや、一つのことに全員が集中して物事に取り組む姿勢を身に付けています。また、校内外における元気な挨拶も、よき伝統として受け継がれ、毎日が爽やかな一日となるよう努めています。さらに、「友愛・誠実・努力」の校訓のもと、有意義な高校生活を体現し、次の代へと繋げていくことが先輩としての責務と考えています。

今年度の生徒会のメインテーマは、「紡（つむぐ）」です。この言葉には、繭から糸を作り出すという意味の他に、歴史と伝統を作りつなげるという比喩的な意味にも使われます。先輩方が築かれた伝統という糸によって、小田高校の校風が編まれました。今後私たちは、さらに手を加え、より良い学校づくりに貢献していきたいと思います。そのためには、地域の皆様の御支援、御協力が必要不可欠です。生徒と教職員、同窓会や地域の皆様が手を取り合って、小田高校の新しい歴史を紡いでいきたいと思います。

本日ここに小田高等学校のさらなる発展のため、今後ますます飛躍していくことをお約束して、生徒代表の挨拶といたします。

沿革

- 昭和23年 8月 3日 愛媛県立小田高等学校（定時制課程）設立認可（昼間・普通科・家庭科）
11月 6日 開校式を挙行
- 24年 4月 11日 農業科設置（定員普通科120名・家庭科120名・農業科40名）
26年 3月 31日 家庭科廃止
27年 3月 31日 農業科の募集を停止
4月 1日 家庭技芸コース新設（修業年限2か年）
29年12月 2日 校地として小田町大字寺村乙511番地を購入（7,342㎡）
32年 9月 8日 新校舎落成式を挙行（1,888㎡）
34年 1月 7日 昭和34年度から定時制課程の生徒募集を停止
4月 1日 全日制課程に切り替えられる。
（普通科450名）通学区域は小田町及び広田村と決定
- 35年 4月 1日 普通科生徒定員405名となる。
6月 20日 小田町寺村乙500番地の1他5筆校地購入（2,627㎡）
36年 4月 5日 東教棟落成式を挙行（676㎡）
38年 4月 1日 普通科生徒定員450名となる。
4月 25日 小田町体育館（建面積752㎡総面積911㎡）落成
本校体育館並びに講堂として使用することとなる。
- 40年 6月 16日 運動場拡張整地完了（1,928㎡）
42年 4月 1日 第1学年定員144名となる。
43年 4月 1日 第1学年定員138名となる。
6月 1日 プール落成式を挙行
10月 5・6日 創立20周年記念式典を挙行
- 44年 4月 1日 第1学年定員135名となる。
45年 9月 30日 体育部室（108.38㎡）完成
46年 3月 31日 武道場（329.81㎡）落成
47年 3月 31日 小田寮（688.53㎡）落成
48年11月 6日 創立25周年記念式典並びに文化祭を挙行
49年10月 30日 建物敷地の一部（26.20㎡）を県道用地として土木部へ所管換え。
なお、分筆登記誤差により、同地一部（1.42㎡）を減ずる。
- 49年12月 23日 小田寮増設、収容能力106名となる。
53年10月 7日 創立30周年記念式典を挙行、校訓碑建立
56年 3月 31日 グラウンドに夜間照明設備及びクラブハウス（50.01㎡）完成
落成記念式典を挙行
4月 1日 第1学年定員90名となる。
- 59年 8月 20日 本館第1期工事竣工（2,085㎡）
11月 10日 正門及び進入路竣工
60年 3月 31日 本館第2期工事竣工（684㎡）
5月 24日 本館落成記念式典を挙行
62年 3月 31日 卓球場新設（134.27㎡）
63年 7月 12日 同窓会から記念庭園（日本庭園）が贈られる。
10月 22日 創立40周年記念式典を挙行
- 平成2年 3月 25日 体育器具収納庫新設（105.21㎡）
8年 4月 1日 第1学年定員80名となる。
10年11月 7日 創立50周年記念式典を挙行
- 平成11年 3月 1日 創立50周年記念誌刊行
6月 18日 四国大会（剣道個人）に宮内いずみ・久保比登美出場
8月 27日 野球応援優秀校として表彰される
10月 15日 2年間のまとめとなる二輪車研究指定校発表会が行われる
- 平成12年 6月 15日 四国交通安全協会より感謝状が贈られる
6月 16日 四国大会（剣道個人）久保比登美出場
8月 29日 野球応援優秀校に表彰される
9月 9日 国体（剣道競技）に久保比登美出場
10月 31日 VYS部が多年にわたるボランティア活動により愛媛県社会福祉大会において表彰される

平成13年 2月 3日	全国高等学校スキー大会（大回転少年女子）に福森沙季奈出場
2月10日	四国新人大会（剣道団体）に男子出場
2月18日	国体冬季大会（スキー競技）に福森沙季奈、末廣和茂出場
6月 3日	喜多地区高等学校野球交歓試合において、野球部優勝
6月15日	四国大会（剣道団体）に男子出場
8月28日	野球応援優秀校として表彰される
10月10日	校舎西階段に昇降機の設置完了
11月 1日	ホームルーム教室にパソコンが導入される
平成14年 2月20日	国体冬季大会（スキー競技）に福森沙季奈出場
3月25日	野球応援において優秀な成果をおさめたとして大亀スポーツ特別賞受賞
6月 2日	喜多地区高等学校野球交歓試合において、野球部準優勝
7月20日	四国大会（ソフトテニス女子個人）に富永朋江・渡辺美穂ペア出場
8月29日	野球応援優秀校として表彰される
平成15年 2月 1日	全国高等学校スキー大会（大回転少年女子）に田中美佳出場
8月27日	野球応援優秀校として5年連続表彰される
11月13日	全国学校体育研究優良表彰において優良校として表彰される
平成16年 2月24日	国体冬季大会（スキー競技）に田中美佳・末廣佳男出場
3月15日	体育活動の功績により、丸井賞受賞
5月26日	小田町体育協会よりスポーツ優秀校受賞
7月24日	第86回全国高等学校野球選手権記念愛媛大会において、 26年ぶり準々決勝まで進出（ベスト8）
8月28日	野球応援優秀校として表彰される
平成17年 1月31日	日全国高等学校スキー大会（少年男子）に末廣佳男出場
6月 5日	喜多地区高等学校野球交歓試合において、準優勝
7月28日	全国ユースフォーラムに広瀬禪出場
平成17年 8月 4日	全日本ビーチバレージュニア男子選手権に大家一敏・田中諒ペア出場
8月28日	野球応援優秀校として7年連続表彰される
11月15日	愛媛県学校保健優良学校として表彰される
平成18年 4月 8日	小田高校ビーチバレーチームが内子町体育協会よりスポーツ優秀賞受賞
10月22日	四国新人大会（陸上）やり投げに末廣寿礼出場
平成19年 4月 1日	校舎、機械警備の導入
9月 1日	野球応援優秀校として表彰される
平成20年 2月10日	四国新人大会（剣道男子）に出場
4月 1日	小田高校に第3寮が増設される
6月21日	創立60周年記念招待試合（野球・剣道）が城の台公園にて行われる
9月 7日	創立60周年記念運動会が行われる
10月30日	創立60周年記念講演会・小田高祭が行われる
11月20日	文部科学省委嘱、平成19年度高等学校・中学校 「人間としての在り方生き方を考える教育」実践研究事業、 平成20年度道徳教育実践研究事業推進校研究発表会が行われる
平成21年 2月18日	平成20年度学校安全優良学校表彰
	文部科学大臣表彰（学校保健）
3月 1日	全日制第50回卒業式（64名）
8月 5日	全国高等学校剣道大会に男子・女子出場
6月21日	四国高等学校剣道選手権大会 男子個人 別宮・ベスト8，女子個人 大竹ベスト16
平成22年 6月19日	四国高等学校剣道選手権大会出場（男子団体）
平成23年 4月 1日	第1学年定員60名となる
8月27日	野球応援優秀校として表彰される
平成24年 2月15日	体育部室(108,38㎡)取り壊し
2月15日	生徒部室新設（41.04㎡）
3月 6日	体育準備室新設（15.96㎡）
6月16・17日	四国選手権大会出場 剣道部

平成25年 6月15・16日	四国選手権大会第三位 剣道部 (団体男子・団体女子)
8月31日	野球応援優秀校として表彰される
平成26年 6月14・15日	四国選手権大会出場 剣道部 (男子個人) 2回戦 永井瑞稀 (女子団体) 3位 (女子個人) 宮内麻世
8月30日	野球応援優秀校として表彰される
平成27年 8月30日	野球応援優秀校として表彰される
平成28年 8月28日	野球応援優秀校として表彰される
10月31日	卓球場 (134.27㎡) 取り壊し
11月 8日	格技場 (329.81㎡) 取り壊し
11月10日	屋外便所 (33.58㎡) 取り壊し
平成29年 7月19日	交通安全功労知事表彰
8月27日	野球応援優秀校として表彰される
9月 7日	体育館新設 (1,388,76㎡)
9月 7日	屋外便所新設 (25.48㎡)
平成30年 6月 2・3日	平成30年度喜多地区七高校野球大会兼小田高校創立70周年記念試合
8月26日	野球応援優秀校として表彰される
9月 2日	創立70周年記念運動会を挙行
10月27日	創立70周年記念式を挙行
10月28日	創立70周年記念小田高祭
11月 6日	創立70周年記念事業「小田深山ウォーク」
平成31年 3月21日	バレーボール部 小田カップ開催

歴代校長

代	氏名	就任年月日	転任年月日	代	氏名	就任年月日	転任年月日
初	小倉 久知	S 26. 4. 1	S 33. 3. 31	13	織田 昌宏	H 3. 4. 1	H 5. 8. 27
2	真鍋 実	33. 4. 1	36. 3. 31	14	高橋 忠義	5.10.12	9. 3. 31
3	近藤 鼎造	36. 4. 1	39. 3. 31	15	佐伯 芳夫	9. 4. 1	11. 3. 31
4	森 元四郎	39. 4. 1	42. 3. 31	16	豊田 達雄	11. 4. 1	13. 3. 31
5	桑原 茂	42. 4. 1	45. 3. 31	17	増田 和男	13. 4. 1	16. 3. 31
6	上原 俊雄	45. 4. 1	48. 3. 31	18	名本 高成	16. 4. 1	19. 3. 31
7	中村 一男	48. 4. 1	51. 3. 31	19	谷村 雄二	19. 4. 1	21. 3. 31
8	竹内 卓平	51. 4. 1	54. 3. 31	20	畑野 智司	21. 4. 1	24. 3. 31
9	宇都宮道夫	54. 4. 1	57. 3. 31	21	藻利 毅	24. 4. 1	26. 3. 31
10	久葉 清行	57. 4. 1	60. 3. 31	22	篠崎 美幸	26. 4. 1	28. 3. 31
11	中矢 功	60. 4. 1	63. 3. 31	23	山下 博司	28. 4. 1	
12	金橋 壽雄	63. 4. 1	H 3. 3. 31				

創立70周年記念事業

✿ 航空写真撮影 平成30年 5月21日(月)

✿ 平成30年度 喜多地区七高校野球大会
兼 小田高校創立70周年記念試合

平成30年 6月2日(土)・6月3日(日)

✿ 記念運動会 平成30年 9月2日(日)

✿ 記念式典 平成30年10月27日(土)

✿ 記念授業 平成30年10月27日(土)

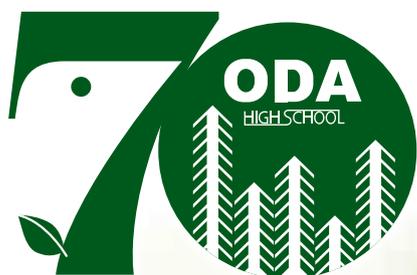
✿ 記念小田高祭 平成30年10月28日(日)

✿ 記念ウォーク 平成30年11月6日(火)

✿ 記念誌発行 平成31年 3月

愛媛県立小田高等学校
創立70周年記念シンボルマーク

創立70周年記念テーマ

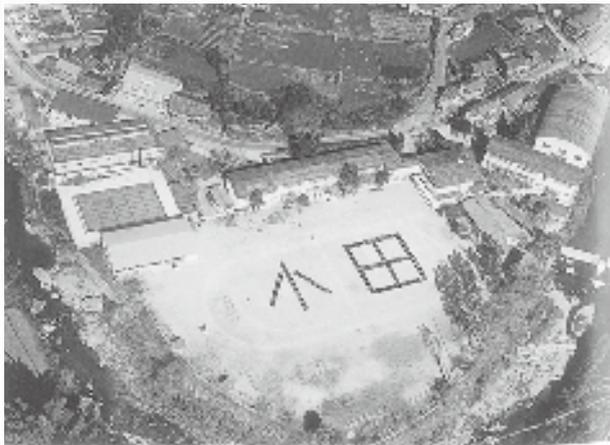


積み重ねてきた70年
歩み続ける地域と共に

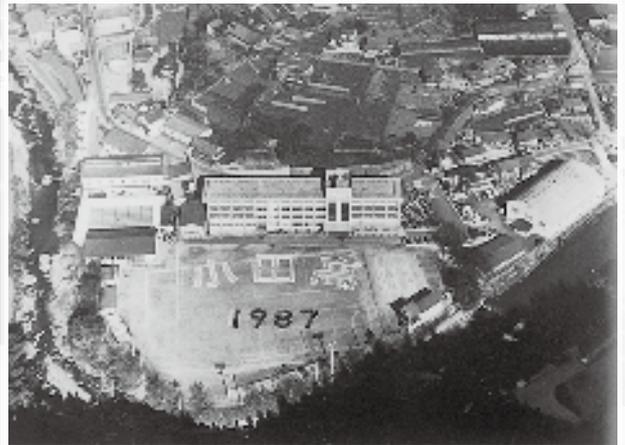
制作者：市川 裕也 (平成29年度卒)

作：山岡 宗一郎 (平成29年度卒)

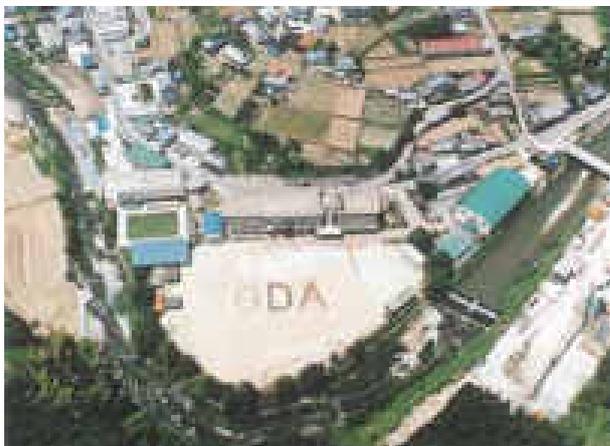
写真で振り返る小田高の歴史



創立30周年記念航空写真（昭和52年11月9日撮影）



航空写真（昭和62年11月20日撮影）



創立42周年記念航空写真（平成2年5月撮影）



創立50周年記念航空写真（平成10年5月28日撮影）

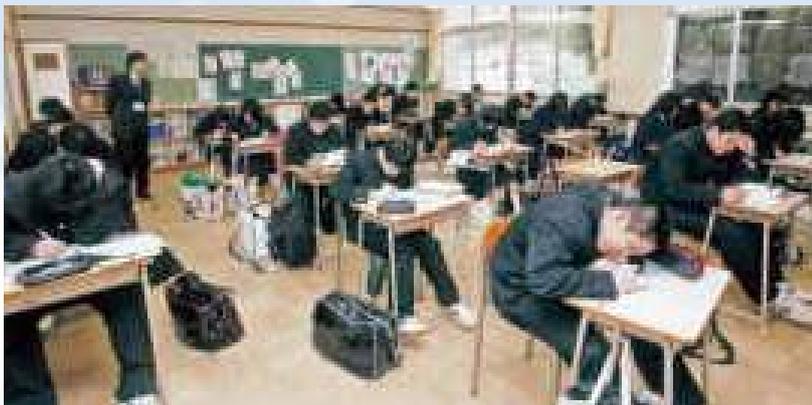


創立70周年記念航空写真（平成30年5月21日撮影）

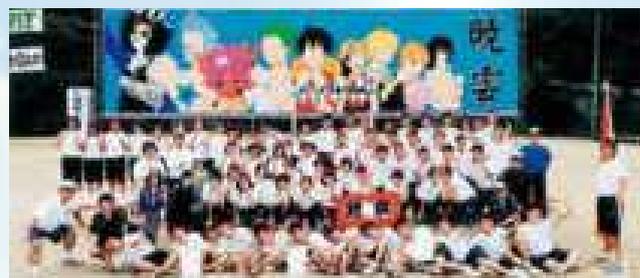
平成21年度



平成22年度



平成23年度



平成24年度



平成25年度



平成26年度



平成27年度



平成28年度



平成29年度



創立七〇周年記念事業

創立70周年 記念式典

10月27日(土)

10月27日(土)創立70周年記念式が盛大に挙行されました。
歴代の校長先生、教職員の方々には、小田高校の揺るぎない
基盤を築いていただきましたことに感謝申し上げます。



山下 博司 校長 挨拶



岡田 志朗 県議会議員 挨拶



亀岡 忠重 同窓会長 挨拶



越智 慎之介 生徒会長 挨拶



市川 裕也 シンボルマーク表彰





記念授業

《演題》

『くりかえす毎日 まだ知らない毎日』

講師：富永 昌敬 氏 (映画監督)

午後から本校卒業生であり映画監督である、富永昌敬氏による記念授業が行われました。演題は『くりかえす毎日 まだ知らない毎日』です。これからの小田高生にとってとても良い勉強になりました。



平成30年度 喜多地区七高校野球大会



選手宣誓をする横田 拓巳主将



始球式を行う亀岡 忠重同窓会長



兼 小田高校創立70周年記念試合



6月2日(土)

○ 城の台グラウンド 第1試合 (1回戦)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
内子	4	4	2	4	4					18
小田	0	0	0	2	0					2

(内子) 池田 - 武田 (小田) 樽古、永居 - 横田

* 5回コールドゲーム

* 本塁打 佐伯 (内子) * 3塁打 * 2塁打 佐伯2 (内子)

6月3日(日)

○ 城の台グラウンド 第1試合 (フレンドリーマッチ)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
小田	1	0	0	0	0	5	1	1	2	10
大洲農業	0	0	4	0	1	0	0	2	0	7

(小田) 大鍋、水口、大鍋 - 横田 (大洲農業) 西山、作田、久保 - 永田

* 本塁打 * 3塁打 樽古 (小田) 久保 (大洲農業)

* 2塁打 大鍋、横田、山本 (小田) 永田、奥野 (大洲農業)

創立70周年 記念運動会

9月2日(日)

絶好の運動会日和に、70周年記念第59回秋季大運動会が盛大に行われました。「紡(つむぐ)」をメインテーマに、「躍動~70年の軌跡とともに~」のスローガンのもと、短い期間でしたが、猛暑の中、今日まで一生懸命練習をしてきました。本番では、どの競技でも生徒たちは全力で取り組み、最高の笑顔を見せてくれました。各グループ趣向を凝らしたパネル・応援、そして華劇団。持てる力を出し切って競い合った団体競技と・個人競技。見所満載の一日でした。本当に爽やかで素晴らしい運動会でした。





創立70周年 記念文化祭

10月28日(日)

創立70周年記念事業行事2日目の今日、小田高祭が行われました。

午前中の全体会では、吹奏楽部やふるさとデザイン部の発表、中高合同の英語プレゼン、3年生によるデザインコンテストが行われました。

お昼には、PTAによる焼きそば、から揚げなどのバザーも行われ、長蛇の列ができていました。

午後からは、教室展示や小田高グランプリなどで、とても楽しいひとときを過ごすことができました。

御来賓、地域の方々、保護者の皆様等の御協力のもと、創立70周年記念にふさわしい充実した2日間となりました。



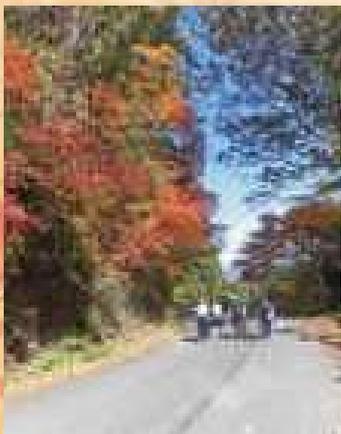


創立70周年記念事業「小田深山ウォーク」 11月6日(火)

創立70周年記念事業「小田深山ウォーク」
が行われました。

学校から、紅葉の美しい小田深山、ソルファ
オダ・スキーゲレンデまでの往復約30kmの道
のりを各々のペースで歩きました。

天候もよく、気持ちよく歩くことができました。





部活動紹介



ソフトボール部



剣道部



バレーボール部



ソフトテニス部



卓球部



野球部



吹奏楽部



ふるさとデザイン部



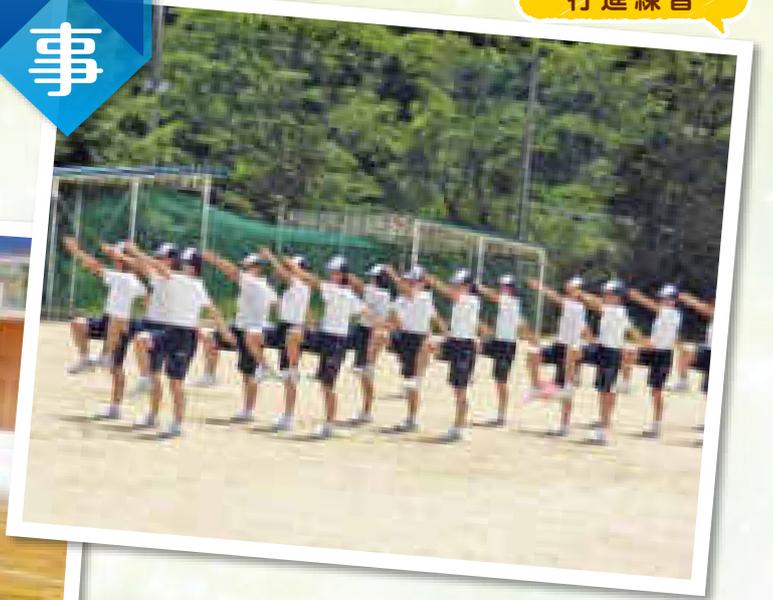
地域共生部

《 部名・顧問・人数 》

体 育 部					文 化 部				
部 名	顧 問	人 数			部 名	顧 問	人 数		
		男	女	計			男	女	計
ソフトボール	中島・泉	0	2	2	吹奏楽	山下祥・池田	2	18	20
剣道	北野・三好	2	5	7	ふるさとデザイン	今居・大下 泉・黒木 渡邊	22	21	43
バレーボール	渡邊・山本健	0	17	17					
ソフトテニス	黒木・今居	9	0	9	地域共生	大下・竹内 山本健・安永 藤澤・北野	21	10	31
卓球	西山・安永	10	0	10					
野球	村上・藤澤	10	0	10					
スキー	竹内	0	0	0	計		45	49	94
計		31	24	55	総計		76	73	149

学 校 行 事

行進練習



グループマッチ



グループマッチ



グループマッチ



遠足：1年生



遠足：2年生

職場見学



遠足：3年生



遠足：3年生



交通安全お守り作り



交通茶屋



修学旅行



修学旅行



練り歩き補助活動



野球応援



獅子舞練習



オダカン



特別清掃



ワックスがけ



二輪自動車講習会





3年1組



3年2組



2年1組



2年2組



1年1組



1年2組

《生徒数》

(平成30年5月1日現在)

学年 性別	1年	2年	3年	合計
男	11	18	27	56
女	23	14	14	51
計	34	32	41	107

《出身地区別生徒数》

(平成30年5月1日現在)

地区	学年 性別	1年	2年	3年	小計	合計
小田	男	2	5	6	13	26
	女	3	7	3	13	
参川	男	3	2	2	7	13
	女	3	1	2	6	
田渡・広田	男	1	0	3	4	6
	女	1	1	0	2	
大瀬	男	0	4	0	4	9
	女	2	2	1	5	
内子・五十崎	男	1	5	7	13	31
	女	9	2	7	18	
その他の地域	男	4	2	9	15	22
	女	5	1	1	7	
計		34	32	41	107	107



施設概要

1 校地

校地総面積	校地内訳		校長公舎敷地
	建物敷地	屋外運動場	
14,067.00㎡	5,585.44㎡	8,481.56㎡	948.17㎡

2 校舎及び教室等

名称	構造	竣工年月	数量	
			建面積	延面積
本館	鉄筋コンクリート造 四階建PH付	S59.8 S60.3	684.84㎡	2,769.09㎡
武道場	鉄骨造平家建 カラー鉄板葺	S46.3	329.81㎡	329.81㎡
生徒部室	木造合金メッキ 鋼板葺平屋建	H24.2	41.04㎡	41.04㎡
屋外便所	ブロック造 陸屋根平家建	S54.3	33.58㎡	33.58㎡
クラブハウス	ブロック造 陸屋根平家建	S56.3	50.01㎡	50.01㎡
倉庫	ブロック造 陸屋根平家建	S60.3	24.00㎡	24.00㎡
卓球場	鉄骨造亜鉛メッキ 鋼板葺平家建	S62.3	134.27㎡	134.27㎡
体育器具収納庫	補強コンクリートブロック造 陸屋根二階建	H 2.3	55.21㎡	105.21㎡
体育準備室	軽量鉄骨造亜鉛メッキ 鋼板葺平屋建	H24.3	15.96㎡	15.96㎡
合計			1,368.72㎡	3,502.97㎡
校長公舎	コンクリートブロック造陸屋根二階建 (H 4.331 公立学校共済組合より移管)	S46.6	55.87㎡	83.80㎡
教職員住宅	コンクリートブロック造陸屋根二階建 (H19.3.10 公立学校共済組合より移管)	H 4.3	131.00㎡	258.40㎡
教職員住宅	木造瓦葺二階建 (H25.3.10 公立学校共済組合より移管)	H15.1	239.34㎡	425.43㎡



◀ 新体育館



旧体育館 ▶

創立70周年記念品等



記念Tシャツ (生徒用)



記念Tシャツ (先生用)

ポスト
カード



クリアファイル



記念タオル



ふるさと小田「本当の色」プロジェクト
(共同制作)



横断幕



教職員



編集後記

愛媛県立小田高等学校は、本年度、創立70周年の節目を迎え、「積み重ねてきた70年 歩み続ける地域と共に」の記念テーマの下、創立70周年記念式典、記念授業、記念運動会、記念小田高祭、野球部記念試合、記念学校行事等、様々な記念事業に取り組んでまいりました。そうした記念事業の一環として、この度、創立70周年記念誌を発刊いたしました。力量不足のため不十分なところも多々あるかとは存じますが、この記念誌が、70周年の歴史を振り返り、小田高校のこれからの一歩となれば幸いです。

また、記念誌発刊に当たって、原稿執筆を快くお引き受けくださった方々、写真や情報を提供して下さった地域の皆様、御協力いただいたすべての方々に心より厚く御礼申し上げます。

記念誌編集担当 村上 純一

平成31年3月1日 発行

発行 愛媛県立小田高等学校
〒791-3502 愛媛県喜多郡内子町寺村978番地
TEL (0892) 52-2042 FAX (0892) 52-4020
ホームページ <https://oda-h.esnet.ed.jp/cms/>

印刷 太陽印刷株式会社

